

北九州医療・介護連携プロジェクト

「医療・介護連携ルール」活用状況調査（結果）

令和3年2月

「医療・介護連携ルール」活用状況調査（対象：ケアマネ事業所）

1. 調査目的

- 「とびうめ@きたきゅう」の令和元年11月からの八幡地区でのモデル実施、令和2年6月からの全市展開、そして医療・介護連携ルールの運用開始から、一定期間がたち、「とびうめ@きたきゅう」の新規登録者数も約1.5万人を超えたため、医療・介護連携ルールの状況を把握するための調査をケアマネ事業所を対象に実施した。

2. 調査概要

- **病院から居宅介護事業所へ、利用者が入院された際に連絡が来ているか**について（「北九州医療・介護連携ルール」が運用されているか）、調査票を市内の全ケアマネ事業所に送付し、回答状況を集計した。

3. 調査期間

- 令和2年11月30日（月）から令和2年12月25日（金）（約1か月間）

4. 回答率

- 44.6%（175/392事業所）
※小規模多機能事業所を含む

5. 調査期間中の入院件数

- **459件**（救急入院・当日入院・その他入院）

○結果要点①

【病院→ケアマネ事業所】

①病院から <u>3日以内</u> に連絡があった	233/459件 (50.8%)	
②病院から <u>入院3日以降</u> に連絡があった	32/459件 (7.0%)	} 226/459件 (49.2%)
③病院から連絡が <u>なかった</u>	194/459件 (42.2%)	

※「③病院から連絡がなかった」についても、病院から家族を経由してケアマネ事業所に連絡してもらっているなど、「ケアマネ事業所に全く連絡がない」ということではない。

※参考：入院種別のうち、救急入院、当日入院を抽出。

	救急入院			当日入院		
	3日以内	3日以上	連絡なし	3日以内	3日以上	連絡なし
全病院	46.7% (99/212件)	7.5% (16/212件)	45.8% (97/212件)	46.6% (61/131件)	7.6% (10/131件)	45.8% (60/131件)
内、救急病院	45.3% (82/181件)	3.3% (6/181件)	51.4% (93/181件)	45.3% (34/75件)	5.3% (4/75件)	49.3% (37/75件)
内、門司区、 小倉北区、小倉南区	42.7% (47/110件)	1.8% (2/110件)	55.5% (61/110件)	42.2% (19/45件)	2.2% (1/45件)	55.6% (25/45件)
内、八幡東区、八幡西区、 戸畑区、若松区	49.3% (35/71件)	5.6% (4/71件)	45.1% (32/71件)	50.0% (15/30件)	10.0% (3/30件)	40.0% (12/30件)

○結果要点②

【ケアマネ事業所→病院】（病院から入院の連絡があったもの（前ページ①+②）について集計）

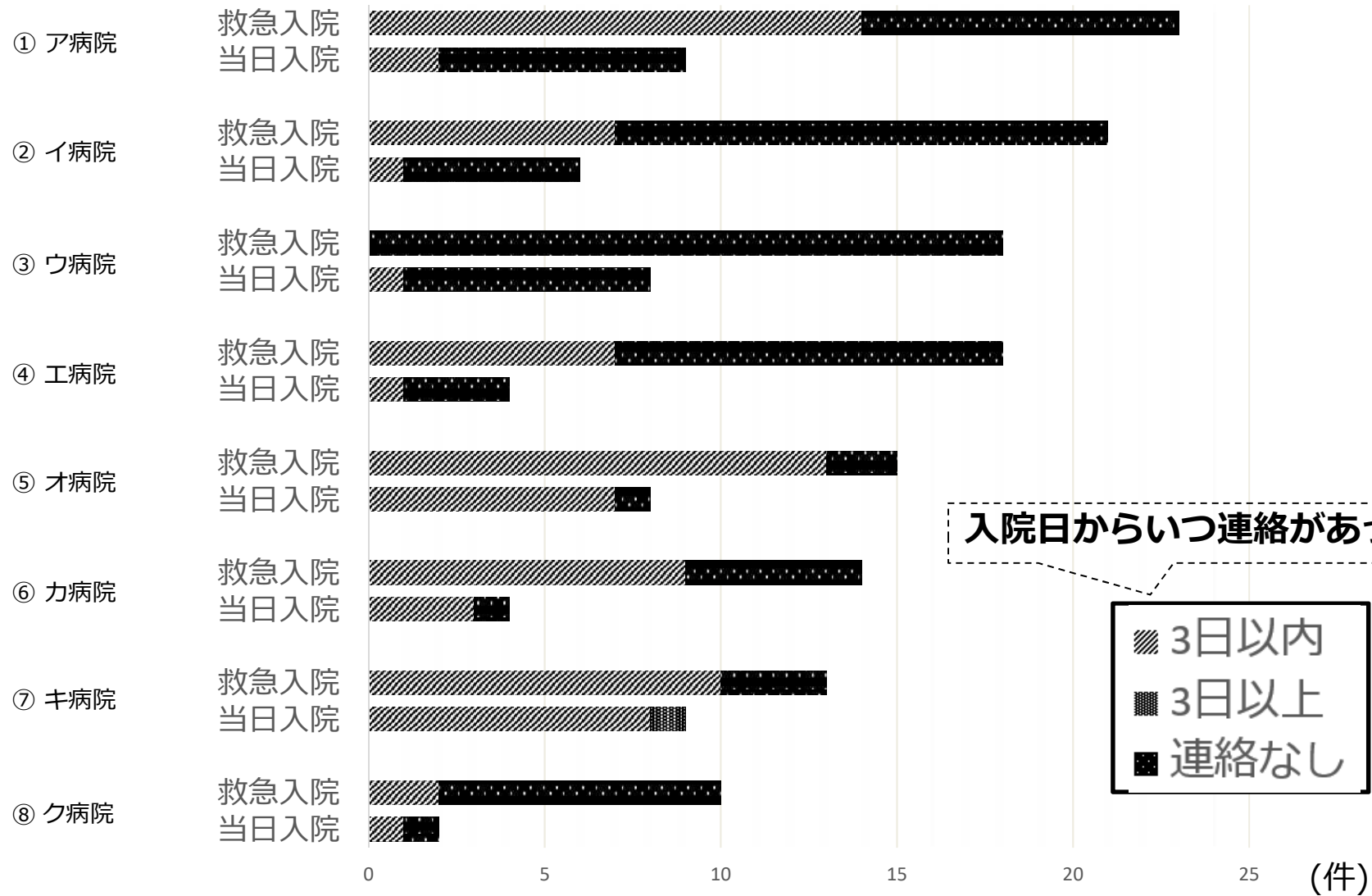
○ケアマネ事業所から <u>3日以内</u> に情報提供をした	212/265件（80.0%）	} 53/265件（20.0%）
○ケアマネ事業所から <u>3日以降</u> に情報提供をした	8/265件（3.0%）	
○ケアマネ事業所から情報提供 <u>していない</u>	45/265件（17.0%）	

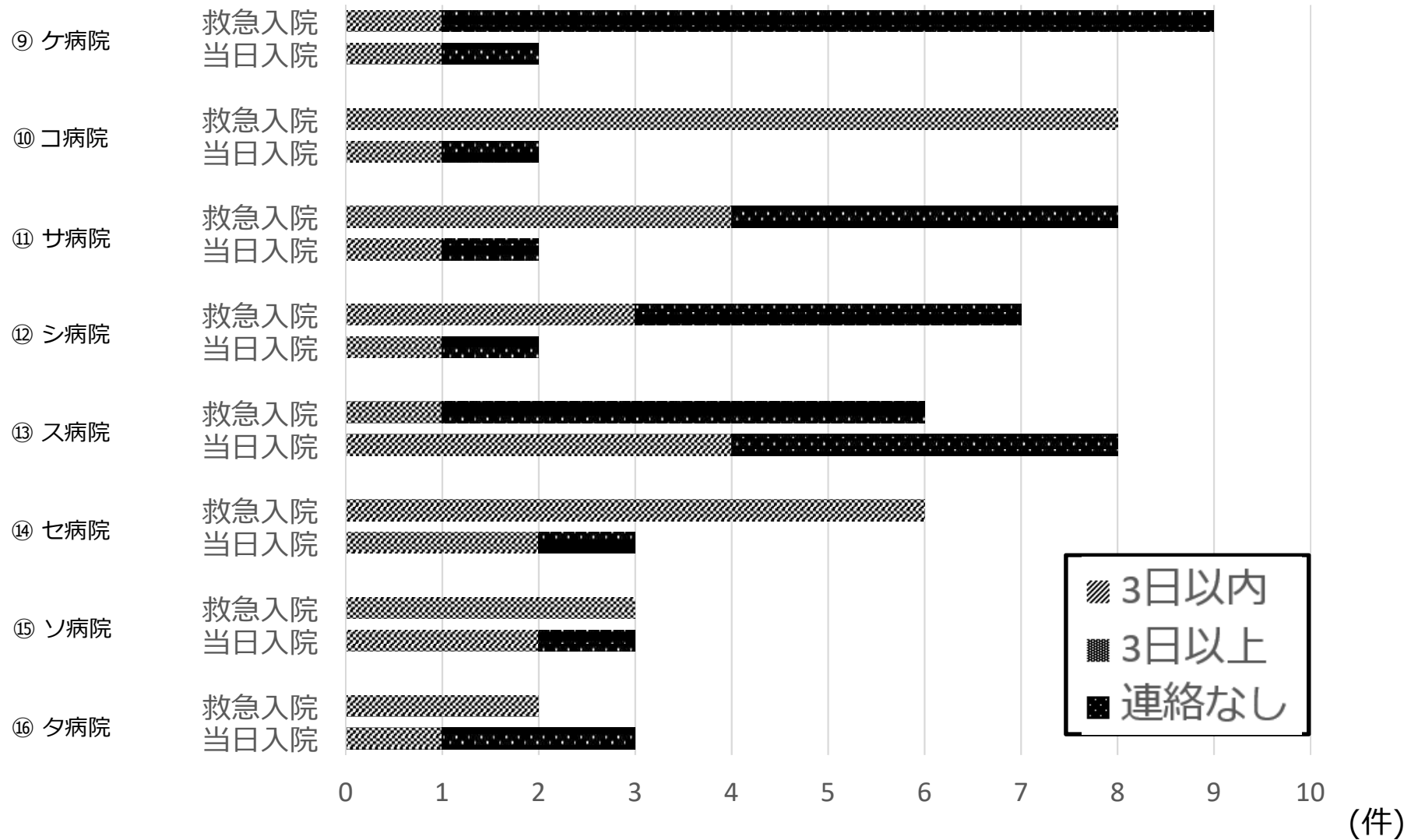
※参考:全入院に対してケアマネ事業所が病院に情報提供を行っているケースは下表のとおり。

		全体
		全入院種別
入院を知ってから3日以内	66.4%(305/459件)	
入院を知ってから3日以降	8.1%(37/459件)	
情報提供なし	25.5%(117/459件)	

病院からケアマネ事業所への 「利用者が入院しました」の連絡

※R2.11.30~R2.12.25の救急入院、当日入院について、市内のケアマネ事業所に調査したもの





病院によって、取組状況はマチマチである。

注) 「連絡なし」についても、病院から家族を経由してケアマネ事業所に連絡をしてもらっているなど、「ケアマネ事業所に全く連絡がない」とまではいえない。

ケアマネ事業所から見て「誰から利用者入院の連絡があったか」

連絡をくれた人			連絡があった件数
病院	家族	その他	
○	○	○	2.0% (9/459件)
○	○		24.4% (112/459件)
○		○	13.5% (62/459件)
○			17.9% (82/459件)
	○	○	0.8% (4/459件)
	○		22.4% (103/459件)
		○	19.0% (87/459件)
57.7% (265/459件)	49.7% (228/459件)	35.3% (162/459件)	

※これには入院3日以内、3日以上がある

今後、家族機能が弱まっていくことから、ここには頼れない。
 病院↓ケアマネ事業所への連絡を徹底する体制を今のうちから
 どんどん作っていく必要がある。

○まとめ

- 全体の5割について、入院から3日以内に病院からケアマネ事業所に連絡があった（その他は家族などを経由し連絡）。
一方、病院から連絡のあったケースの8割について、ケアマネ事業所から病院に情報提供をしていた。
- 病院からケアマネ事業所への「利用者が入院しました」の連絡の取組状況は病院によりマチマチである。
- 今後、家族機能が弱まっていくことから、家族・その他の方からの連絡は頼れないようになる。病院からケアマネ事業所への連絡を徹底する体制を今のうちから作っていく必要がある。

参考：ケアマネ事業所を対象に実施した調査（病院からの連絡があった日ー入院日）

利用者が入院した
ことの連絡の有無

57.7%
(265/459件)

42.3%
(194/459件)

（病院から連絡がなかった）
（病院以外から連絡があった）

病院から連絡のあった日数（全入院種別）

全入院種別		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	57.7%(265/459件)	62.7%(79/126件)	55.9%(186/333件)
入院日以前	3.5%(16/459件)	8.7%(11/126件)	1.5%(5/333件)	
入院3日以内	47.3%(217/459件)	46.0%(58/126件)	47.7%(159/333件)	
入院3日以降	7.0%(32/459件)	7.9%(10/126件)	6.6%(22/333件)	
連絡なし	42.3%(194/459件)	37.3%(47/126件)	44.1%(147/333件)	

救急入院		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	54.2%(115/212件)	57.4%(31/54件)	53.2%(84/158件)
入院日以前	—	—	—	
入院3日以内	46.7%(99/212件)	48.1%(26/54件)	46.2%(73/158件)	
入院3日以降	7.5%(16/212件)	9.3%(5/54件)	2.4%(11/158件)	
連絡なし	45.8%(97/212件)	42.6%(23/54件)	46.8%(74/158件)	

外来受診後の 当日入院		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	61.8%(81/131件)	68.2%(30/44件)	58.6%(51/87件)
入院日以前	7.6%(10/131件)	18.2%(8/44件)	2.3%(2/87件)	
入院3日以内	46.6%(61/131件)	47.7%(21/44件)	46.0%(40/87件)	
入院3日以降	7.6%(10/131件)	2.3%(1/44件)	10.3%(9/87件)	
連絡なし	38.2%(50/131件)	31.8%(14/44件)	41.4%(36/87件)	

その他の入院		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	59.1%(68/115件)	64.3%(18/28件)	57.5%(50/87件)
入院日以前	5.2%(6/115件)	10.7%(3/28件)	3.4%(3/87件)	
入院3日以内	48.7%(56/115件)	39.2%(11/28件)	51.7%(45/87件)	
入院3日以降	5.2%(6/115件)	14.3%(4/28件)	2.3%(2/87件)	
連絡なし	40.9%(47/115件)	35.7%(10/28件)	42.5%(37/87件)	

参考：ケアマネ事業所を対象に実施した調査（情報提供を行った日ー病院から連絡があった日）

利用者が入院した
ことの連絡の有無

57.7%
(265/459件)

42.3%
(194/459件)

（病院から連絡がなかった
（病院以外から連絡があった）

病院から患者入院の連絡を受けた後の病院への情報提供の有無と日数（全入院種別）

全入院種別		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	情報提供を行った	83.0%(220/265件)	78.5%(62/79件)	84.9%(158/186件)
病院連絡以前	12.5%(33/265件)	11.4%(9/79件)	12.9%(24/186件)	
連絡後3日以内	67.5%(179/265件)	59.5%(47/79件)	71.0%(132/186件)	
連絡後3日以降	3.0%(8/265件)	7.6%(6/79件)	1.1%(2/186件)	
情報提供なし	17.0%(45/265件)	21.5%(17/79件)	15.1%(28/186件)	

救急入院		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	情報提供を行った	85.2%(98/115件)	74.2%(23/31件)	89.3%(75/84件)
病院連絡以前	9.6%(11/115件)	9.7%(3/31件)	9.5%(8/84件)	
連絡後3日以内	73.9%(85/115件)	61.3%(19/31件)	78.6%(66/84件)	
連絡後3日以降	1.7%(2/115件)	3.2%(1/31件)	1.2%(1/84件)	
情報提供なし	14.8%(17/115件)	25.8%(8/31件)	10.7%(9/84件)	

外来受診後の 当日入院		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	情報提供を行った	77.8%(63/81件)	73.3%(22/30件)	80.4%(41/51件)
病院連絡以前	11.1%(9/81件)	6.7%(2/30件)	13.7%(7/51件)	
連絡後3日以内	61.7%(50/81件)	53.3%(16/30件)	66.7%(34/51件)	
連絡後3日以降	4.9%(4/81件)	13.3%(4/30件)	0.0%(0/51件)	
情報提供なし	22.2%(18/81件)	26.7%(8/30件)	19.6%(10/51件)	

その他の入院		全体	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	情報提供を行った	85.3%(58/68件)	94.4%(17/18件)	82.0%(41/50件)
病院連絡以前	19.1%(13/68件)	22.2%(4/18件)	18.0%(9/50件)	
連絡後3日以内	63.2%(43/68件)	66.7%(12/18件)	62.0%(31/50件)	
連絡後3日以降	2.9%(2/68件)	5.6%(1/18件)	2.0%(1/50件)	
情報提供なし	14.7%(10/68件)	5.6%(1/18件)	18.0%(9/50件)	

参考：病院窓口ガイドについて、使用しての感想や追加・変更を希望する点①

<記載内容、記載方法について>

- ・ 病院名が見にくかった。ガイドに書いてある窓口でない所に情報を渡す場合もあった。
- ・ もともと病院とは連携を取っていたので、窓口の連携先などは知っていた。ただ、同じ書式を用いて、この時はどちらにとはっきりと明示されたおかげで、架電時に助かる。書式が小さく少しごちゃごちゃしている感があり、見えにくいのが難点。問い合わせによって問い合わせ先が書いてあるものの、実際とは違うことがままある。
- ・ 情報提供書提出先やケアマネへの要望が書かれてあるのでとても参考になる。
- ・ 連絡先がわかるので助かる。
- ・ わかりやすくして利用しやすい。
- ・ 一覧が出来てとても助かっている。
- ・ 入院時の連絡をする際に病院窓口ガイドを利用している。連絡先や担当が明記されているので助かっている。

<病院との連携について>

- ・ 病院窓口ガイドを見て病院に連絡するが、対応してもらえない場合がある。入院・退院の連絡がもらえないことがある。
- ・ 救急部隊に「連携室に連絡してください」と言われ連絡したところ、連携室から「到着してからこちらが動くので、連絡をしなくてもいい」と言われた。上記のことを伝えたが、疑問ばかり残った。
- ・ 情報提供する際は電話連絡するように記載しているが、病院内の伝達不足なのか、「FAXします」と話しても待たされFAXできないので、病院内でも周知して欲しい。
- ・ 以前より病院との連携が図りやすくなったと思う。病院の方から入院の連絡をいただくことが増えてきたように思う。
- ・ お蔭様を持ちまして、総合病院との入退院の連携がスムーズになりつつあると感じている。とびうめ@きたきゅうの登録を引き続き働きかけていきたいと思っている。
- ・ 明らかに病院からの一報が増えたことを実感している。
- ・ 連携がとりやすくなった。
- ・ 病院との連携が図りやすくなった。どこにFAXをしたらいいかを確認しやすく、新型コロナウイルスの関係で病院に持参する事がなかなかできない状況だったので、情報提供がしやすくなった。また、退院前の連絡もして下さるようになってきている。

参考：病院窓口ガイドについて、使用しての感想や追加・変更を希望する点②

<要望>

- ・ 窓口ガイドに掲載している番号が代表番号で、連携室の番号を聞いて、またかけないといけない。
(2度手間になるので、直接つながる連携室の番号を掲載してほしい)
- ・ 相談員がいる病院(厚生病院など)の情報を追加して頂けたら助かる。大変見やすく活用させていただいている。
- ・ 詳しく記載されているが、表説が複雑すぎる?もう少し、簡略化・シンプル化できると見やすいかもしれません。

<その他>

- ・ とびうめ@きたきゅうについて興味はありますが、まだ登録できていません。もうしわけございません。
- ・ まだ活用できていないので、活用してみたいと思う。
- ・ 必要時に活用する。

参考：その他自由記載①

<病院との連携について>

- 病院からの連絡は長期・短期～退院までの間に連絡はあるが、家族の意向がないと名前や病状も聞くことができない。新型コロナウイルスにより、病院に面会することもできないのが現状。医療との連携は理解しているが、どうやって病院とのつながりを持てばよいのかわからない。その方法があれば教えて欲しい。病院によってはカンファレンスをする所としない所がある。
- とびうめに登録していても、連絡がないことや、病院によっては病棟から連絡があるなど、まだまだ活かせていない場面があった。家族からの連絡を受け、こちらから連絡して…の感じは今まで通り。病院によって差があると思った。
- 退院調整時、病棟と連携室でバラバラに連絡してくる。基本どっちに連絡したらいいのかわからない病院もあり（病棟から連絡があり、折り返し連携室担当に連絡すると聞いていない等）。退院前の調整連絡がない（こちらから確認すると、明日退院です。など）
- 次の日に連絡したら、担当がまだ決まっていないとのことで情報提供できないことがあった。
- 今までに（現在も）すぐに入院先から電話をいただくよりも、家族からの連絡の方が早いです。
- 病院との連携は図りやすくなったが、病院によっても対応の差があり、時に救急病院は病院から連絡が来ることはほとんどなく、こちらが情報提供しても折り返しや退院の連絡などないことがほとんどなので、家族と連絡をとりあい情報収集をしている。病棟の看護師さんに対応してくれることがあるが、ソーシャルワーカーと連絡を取るのと違い難しいと感じることがある。
- 今回は、こちらから連絡したが、某病院はよく連携してくださるのでありがたい。
- 調査期間内に事例はありませんでしたが、某病院は入院時必ず（ほとんど）連絡をくれる。
- 同一法人で住宅型有料老人ホームを運営しているため、現場責任者に直接病院から連絡が入り、その後ケアマネが介入するケースがある。
- ケアプランセンターと同じ系列の住宅型の施設に入っているため、病院とのやり取りは施設を窓口に行っている状況。
- 家族や施設からの連絡で入院を知るケースがほとんど。患者情報として、基本情報のみか、計画書・介護保険証のコピーが必要か、統一できるとよい。

参考：その他自由記載②

<「とびうめ@きたきゅう」について>

- ・ とびうめを説明しても、理解されなかった時があったので、今後、努力をしていくつもりではある。今後ともご指導のほどよろしく願います。
- ・ かかりつけ医からとびうめ@きたきゅうについて、「本人の情報を医療機関以外にどこまで拡充していくのかわからない。拡充すれば個人情報の漏洩リスクが高くなることに不安がある」と言われた。
- ・ 個人情報保護について、不安を感じている方が多いのが現状。引き続き働きかけを継続していく。
- ・ とびうめネットは登録がすすんでいません。
- ・ かかりつけ医に「とびうめ@きたきゅう」の登録をしましょうと話しましたが、なかなか回答が得られません。
- ・ 登録はしていませんが、情報提供は必ず行っている。死亡しても連絡がありません。転院後、共有もされていません。登録すれば、連絡が入るのでしょうか？
- ・ R2.8月申請：登録カードが届いていません。
- ・ 市外に救急搬送が多いため、市外にも広がると思う。
- ・ 登録されたほとんどの利用者さん達に「安心できる」と喜ばれていた。

<「病院窓口ガイド」について>

- ・ 私共の事業所は直方市に隣接しており、市外の病院についても多く入院があるので、北九州市近郊の病院の情報もあとと便利。

<「医療・介護連携ルール」について>

- ・ 添付された医療・介護のルールにおいて、情報提供が急性期・慢性期どちらに対しても情報提供となっているが、そもそもケアマネから初回入院先、例えば救急病院に情報が提供され、そこから慢性期等病院に連絡がいき、慢性期からケアマネなどに情報がいく、いわゆるつながる連携になっていないように見えるが、実際病院を転院した際に転院先からも情報提供（ケアプランや基本情報）を求められるが…病院間の連携はないのかが疑問。
- ・ 病院からの連絡で入院したことを知るよりも、家族からの連絡でケアマネから病院に連絡することが圧倒的に多い。とびうめからの医療・介護連携が始まってからは「知らないうちに退院していた」等はほとんどなくなったように思う。

参考：その他自由記載③

<医療・介護連携プロジェクトについて>

- ・ 市外に救急搬送が多いため、市外にも広がるといいと思う。

<質問・要望>

- ・ とびうめネットを勧めているが、独居の方や認知症の方は、2ヶ月後に郵送されてもわからない方が多い。郵送先を居宅にして確実に本人に渡せる方がいいのではないかと（選択させてほしい）。退院の連絡が直前のこともある。退院の連絡が図られているかの調査も合わせてした方が良かったのではないかと？
- ・ とびうめ@きたきゅうに反対しているかかりつけ医の情報を教えてほしい。
- ・ 北九州市内で使用できる共通の連携シートや情報提供書があると便利だと思う。
- ・ 病院から普通に連絡が今までもあっているが、とびうめ@きたきゅうを見ての連絡かどうかわかると嬉しい。
※ 1～2月の方が入退院は多い！！

<その他>

- ・ 上記対象者（今回調査で入院となった利用者）をとびうめ登録しなかったのは、住宅型有料老人ホームに入所しており、急な搬送で身元が解らないといったようなことが想定されないと判断したためである。担当している利用者で自宅で生活している方はほとんど登録を行った。
- ・ 弊社は入院時連携加算は進んで取得させてもらっている。
- ・ 上記入院の方（今回調査で入院となった利用者）はサービスの利用はしていないが、介護保険の更新をさせていただいた方です。入退院のたびに本人宅訪問、情報提供等させていただいたが、実際、サービスが動くようになってからは、私が担当件数を超えており、別の居宅の方をお願い、情報提供させていただいた。（それが嫌だったわけではありません、サービス調整がうまくいき、良かったと思っているが、業務量は多い）